

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	6	学 校 名	登美ヶ丘高等学校
-----	---	-------	----------

1. 取組名 秋風のコンサート～地域の異校種を巻き込んだ吹奏楽部と生徒会～

2. 活動内容

高校生による社会参加活動の一環として学校を開放し、生徒の活動の一端を紹介することにより地域の方々の理解を深め、地域社会に支えられた学校の発展を願って実施することをねらいとする。奈良県大芸術祭参加行事として本校中庭の会場で、コンサートの名称が示すように、秋の夕方に日が暮れていく中での爽やかな秋風に吹かれて音楽を楽しんでもらう行事として24回を数え地域に定着している。

すべての本校の部活動生徒が、9月半ばごろより近隣地域へのビラの配布作業、前日の会場準備、当日の会場への誘導、企画等への参加、会場受付（プログラム配布、アンケートや義援金集め）や集計、会場のあとかたづけなどを分担して行った。

毎年、異校種を巻き込んで地域の中心となって、このコンサートを行っている。今年は、約800名のお客様がご来場され、近隣の中登美保育園のマーチング園児、登美ヶ丘北中学校吹奏楽部、奈良文化女子短期大学部、本校吹奏楽部のそれぞれ単独ステージと本校生徒とコラボレーションステージがあった。さらにコンサートの様子が、奈良テレビ「千客万来！ならcoco」で11月4日と18日に放送された。

3. 成果と課題

成果は、地域との関わりが深まり、地域の方に登美ヶ丘高校を知っていただき、学校全体でイベントを行い、他の部活動や先生と仲を深めることができた事、またコンサートの会場で中高生徒会合同の活動が行え、登美ヶ丘地域を一つにつなげることができ、保育園・中学校・短期大学との合同演奏で、たくさんのお客さんの前で演奏することでのいい経験ができた事などである。

課題は、この行事を通じてさらに登美ヶ丘高校を知ってもらうこと、出演団体の合同連携を推進し、地域を巻き込める創意工夫をこらした演出を行う必要があることなどである。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

本年度は奈良テレビでの放送を通じて、本校の秋風のコンサート活動を県内に幅広く発信することに成功した。毎年多くの来場者があり、本年度も多くの方々に楽しんでもらえた。次年度以降も映像メディアを通じて、広く県民の皆様を知っていただきたい。あるいは動画配信サイトを利用した同時中継なども考えられる。一方で吹奏楽部と生徒会が中心となっている行事に、より多くの部活動生徒を参加させる体制をつくる必要があると考える。

